おいてかないで
スマホや
モバイルバッテリー

スマートフォンやモバイルバッテリーなどのリチウムイオン電池使用製品を
炎天下の車内などの高温環境下に放置すると、発火することがあり危険です。

消費者庁 Consumer Affairs Agency, Government of Japan
FDMA 住民とともに 総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency
国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
環境省 Ministry of the Environment

リチウムイオン電池が使われています

※リチウムイオン電池が使用されている製品例
（この他にも、充電できるものや電源につながなくても動く・光るなどするものには、リチウムイオン電池が使われている可能性があります。）

こんな事故が起こっています

店舗の駐車場で、炎天下の乗用車のダッシュボード上にモバイルバッテリーを置いていたところ、火災が発生した。

電車内で、リュックサックに入れていたモバイルバッテリーから火災が発生し、２名が軽傷を負った。モバイルバッテリーはリュックサックに入れたまま、日中、炎天下に置かれていた。

携帯用扇風機を使用中、床に落とした。数分後煙が出て焦げ臭くなり、破裂音がした。

昨夜、雨に濡れたモバイルバッテリーをビニール袋に入れ、机上に放置した。今朝見るとバッテリーが黒ずみ、ビニールが溶け、机の表面が焦げていた。

※上記事故事例は、消費者庁 が独立行政法人国民生活センターと連携して運用している事故情報データバンクに寄せられた情報です。
なお、事故情報データバンクに寄せられた情報には、事実関係及び因果関係が確認されていないものも含みます。

気をつけよう！

- ○ **高温環境**下での**放置**は厳禁
- ○ 強い**衝撃**や**圧力**、**水濡れ**に注意
- ○ **充電時**の**安全確保**
- ○ **異常**を感じたら**使用中止**
- ○ 廃棄時は**正しい廃棄方法**を**確認**

リチウムイオン電池に関する注意事項などの詳細情報はこちら
→リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト
https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/

令和８年７月２日